

お茶の水ゼミナール英語科執筆の参考書

「英語 monogrammar」のお知らせ

～「英語 monogrammar」を基にした英文法講座も YouTube で配信中～

お茶の水ゼミナール英語科が執筆に参加し、全6巻が発刊されている参考書、「英語 monogrammar」のお知らせです。本書は、問題を解くだけの英語力ではなく、「英語を作る」力をすべての中高生に身につけてほしい、そんな想いで作られた参考書です。特に中学2年～高校2年生が、英語学力の骨格を作る素材として最適だと考えています。以下でご紹介をしていますので、ぜひ一度手に取ってみてください。

●「英語 monogrammar」シリーズのご紹介

「英語 monogrammar」シリーズは、1巻ごとに1つの文法項目へ焦点を当てたユニークな参考書です。言語学者・英語教育学者の牧博士（東京大学大学院、コネチカット大学博士取得、現在岐阜大学シニア教授）を監修に招き、学問的に正しい文法理論に基づいたわかりやすい解説を行っています。この1冊をやれば、その分野の知識は完璧になるよう構成されています。そして、理解したことを、Writing Exercises で「生きた文法」に仕上げる学習プロセスを採用しており、まるで母語話者のように「英語を作る」力を養います。

本書では、文法理論に基づく解説以外にも、たくさんの工夫が凝らしてあります。以下は一例です。

- 他に類を見ない数多くの例文に触れることで、文法理論を根付かせることができる。
- 各 Section ごとに Writing Exercises を用意。英作文による仕上げで文法理解を促進することができる。
- ひとつの巻、ひとつの文法テーマだけで 250 以上の問題に触れることができ、入試対策はもちろん、学校の定期テスト勉強の仕上げとしても活用できる。

「英語 monogrammar」シリーズは全10巻を刊行予定で、現在は以下赤字の全6巻が発刊されています。

こちらから購入が可能で→[Amazon へのリンク](#)

第1巻…関係詞

第2巻…比較

第3巻…準動詞

第4巻…助動詞・仮定法

第5巻…時制・相

第6巻…冠詞・形容詞・副詞

第7巻…名詞・代名詞

第8巻…接続詞・前置詞

第9巻…動詞

第10巻…（タイトル未定）

●「英語 monogrammar」での学習効果を高める解説授業を YouTube で配信中

本書を読むにあたっての導入に適した解説授業を YouTube にて配信しています。

この解説授業は、いま手元に参考書をお持ちでない方が見ても、十分に学びとなる内容ですので、ぜひご覧になってください。

▼お茶ゼミの YouTube チャンネルはこちら

https://www.youtube.com/channel/UCtSiUSGxtx81gySARKH-mg/playlists?s_nzid=oc00092

ぜひチャンネル登録をしてください。

▼次のページより、英語モノグラマーの目次と YouTube 解説動画のリンクをご用意しましたのでご活用ください。

* 解説動画が更新され次第、リンクも随時更新してまいります。

Stage 1 英文法の理解とライティング

- Introduction 関係詞とは
- Section 0 英語の基本構造
- Section 1 関係代名詞 who
- Section 2 関係代名詞 which と that
- Section 3 関係代名詞の省略
- Section 4 埋め込み文空所構造
- Section 5 whose と of which
- Section 6 関係副詞
- Section 7 関係副詞と関係代名詞
- Section 8 非制限用法
- Section 9 前置詞付き関係代名詞
- Section 10 数量代名詞 of 関係代名詞
- Section 11 先行詞なしで用いる関係代名詞 what
- Section 12 what と接続詞 that
- Section 13 関係代名詞の what と疑問詞の what
- Section 14 関係代名詞 that と同格の that
- Section 15 what を用いた慣用表現
- Section 16 先行詞なしで用いる-ever (名詞的用法)
- Section 17 先行詞なしで用いる-ever (副詞的用法)
- Section 18 先行詞なしで用いる関係副詞
- Section 19 疑似関係詞
- Section 20 関係決定詞の which
- Section 21 補語の働きをする関係詞

Stage 2 大学入試文法問題に挑戦

Stage 3 より深い英文法へ

- Section 22 二重限定
- Section 23 Pied Piping (先導の規約)
- Section 24 関係詞を予測させる that (後方照応)
- Section 25 関係代名詞主格の省略
- Section 26 コメント節を作る as
- Section 27 いわゆる系の表現
- Section 28 不定詞の形容詞的用法と関係詞との関係
- Section 29 関係副詞 that

Stage 1 英文法の理解とライティング

Introduction 比較とは？

Section 0 比較の基本構造

Section 1 原級比較

Section 2 倍数表現

Section 3 程度の強調の原級比較

Section 4 原級比較の慣用表現

Section 5 比較級の形態

Section 6 優勢比較と劣勢比較

Section 7 比較の対象

Section 8 差を表す表現

Section 9 no 比較級

Section 10 the 比較級

Section 11 ラテン比較と絶対比較級

Section 12 比較級を用いた慣用表現

Section 13 最上級

Section 14 最上級の慣用表現

Section 15 最上級表現の書き換え

Section 16 than のない比較級

Stage 2 大学入試文法問題に挑戦

Stage 3 より深い英文法へ

Section 17 as ～ as 範囲

Section 18 単独の as

Section 19 倍数表現再考

Section 20 性質の比較

Section 21 同一物内の比較

Section 22 「比較」の拡張

Section 23 慣用的なたとえの as ～ as

Section 24 The 比較級 S+V, the 比較級 S+V の語順変化

Section 25 比較における省略と空所

Section 26 more than 形容詞, 副詞, 動詞

Stage 1 英文法の理解とライティング

Introduction 準動詞とは？

Section 0 英語の基本構造

Section 1 主語, 目的語, 補語に現れる～ing (動名詞)

Section 2 動名詞の意味上の主語

Section 3 時間のずれを表す having 過去分詞

Section 4 動名詞を用いた慣用表現

Section 5 主語, 目的語, 補語に現れる to do (名詞的用法の to do)

Section 6 名詞を修飾する to do (形容詞的用法の to do)

Section 7 前置詞 + whom/which + to do

Section 8 補語になる to do 再考

Section 9 疑問詞 + to do

Section 10 副詞の位置に現れる to do (副詞的用法の to do)

Section 11 for O to do

Section 12 of 人 to do

Section 13 時間のずれを表す to have 過去分詞

Section 14 形式目的語構文

Section 15 to do を用いた慣用表現

Section 16 前置詞と ～ing

Section 17 ～ing をとる動詞と to do をとる動詞 (1)

Section 18 ～ing をとる動詞と to do をとる動詞 (2)

Section 19 原形不定詞 (1)

Section 20 原形不定詞 (2)

Section 21 現在分詞と過去分詞

Section 22 目的格補語に現れる準動詞の形態

Section 23 自動詞と他動詞の性質

Section 24 心理動詞の ～ing/ 過去分詞

Section 25～27 分詞構文 (1)～(2)

Section 28 tough 構文と worth 構文

Stage 2 大学入試文法問題に挑戦

Stage 3 より深い英文法へ

Section 29 名詞 + ～ing の連続の解釈

Section 30 懸垂分詞 (ずっこけ分詞)

Section 31 知覚動詞再考

Section 32 分詞の前置修飾と後置修飾

Section 33 to do をとる名詞と of ～ing をとる名詞

Section 34 say

Section 35 副詞として働く形容詞・名詞

Section 36 to do さまざま

Stage 1 英文法の理解とライティング

- Introduction 助動詞とは？
- Section 0 英語の時制体系と述語動詞
- Section 1 主要助動詞の2つの系列の意味
- Section 2 will
- Section 3 can
- Section 4 may
- Section 5 must と have to
- Section 6 原形を持たないことから生じる制約
- Section 7 半助動詞 (semi auxiliaries)
- Section 8 should
- Section 9 マイナー助動 詞
- Section 10 ふりかえりの have
- Section 11 主要助動詞と時制の一致
- Section 12 主要助動詞の過去形と would
- Section 13 could
- Section 14 might
- Section 15 would/could/might の仮定用法とまとめ
- Section 16 直説法と仮定法
- Section 17 過去形を使う仮定法
- Section 18 過去完了形を使う仮定法
- Section 19 倒置による if の省略と「～がなければ」の表現
- Section 20 可能性の薄い未来の仮定
- Section 21 as if/I wish などの表現
- Section 22 主語 + 原形 (仮定法現在)
- Section 23 隠された if 節
- Section 24 if 以外による条件文
- Section 25 助動詞の do
- Section 26 助動詞・仮定法を使った慣用表現

Stage 2 大学入試文法問題に挑戦Stage 3 より深い英文法へ

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| Section 27 根源的用法と時・条件の副詞節 | Section 33 間接話法における仮定法 |
| Section 28 if 節に現れる will | Section 34 埋め込み文における仮定法 |
| Section 29 shall と dare | Section 35 as if 再考 |
| Section 30 have to 再考 | Section 36 主語 + 原形再考 |
| Section 31 反実仮想か？ | Section 37 倒置による if の省略再考 |
| Section 32 仮定法が表す「時」 | Section 38 助動詞・条件文のまとめ |

英語 monogrammar 第5巻 時制・相 ～目次～

Stage 1 英文法の理解とライティング

- Section 0 動作動詞と状態動詞
- Section 1 単純現在形
- Section 2 単純過去形
- Section 3 進行形
- Section 4 進行形になれない動詞
- Section 5 単純過去形と過去進行形
- Section 6 未来を表す表現 (1)
- Section 7 未来を表す表現 (2)
- Section 8 未来を表す表現の比較
- Section 9 現在完了(1) 完了
- Section 10 現在完了(2) 経験
- Section 11 現在完了(3) 継続
- Section 12 現在完了形と単純過去形
- Section 13 過去完了
- Section 14 単純過去形と過去完了形
- Section 15 未来時までの完了と完了のまとめ
- Section 16 時・条件の副詞節
- Section 17 発話時からの視点 (時制の一致)

Stage 2 大学入試文法問題に挑戦

Stage 3 より深い英文法へ

- Section 18 単純現在形の様々な用法
- Section 19 進行形になれない動詞再考
- Section 20 進行形の面白い用法
- Section 21 完了を表す be p.p.
- Section 22 単純過去形と現在完了再考
- Section 23 過去完了再考
- Section 24 will 再考と相対時制
- Section 25 描出話法 (自由間接話法)

英語 monogrammar 第9巻 動詞 ～目次～

Stage 1 英文法の理解とライティング

Section 0 品詞としての動詞と文の要素としての述語動詞

Section 1 動詞と文型

Section 2 形態に注意すべき動詞

Section 3 完全自動詞と there 構文

Section 4 補語をとる動詞 (1)

Section 5 補語をとる動詞 (2)

Section 6 目的語をとる動詞

Section 7 自動詞と他動詞を間違えやすい動詞 (1)

Section 8 自動詞と他動詞を間違えやすい動詞 (2)

Section 9 他動詞の自動詞化

Section 10 oneself を目的語にとる動詞

Section 11 同族目的語構文と way 構文

Section 12 心理動詞

Section 13 目的語が名詞以外の場合 (1)

Section 14 目的語が名詞以外の場合 (2)

Section 15 動詞 + 前置詞がとる目的語

Section 16 worth 構文

Section 17 二重目的語をとる動詞 (1)

Section 18 二重目的語をとる動詞 (2)

Section 19 V O that 節 / wh 句・節

Section 20 V O C

Section 21 V O p.p.

Section 22 V O 原形をとる動詞

Section 23 V O ～ing をとる動詞

Section 24 V O to do をとる動詞

Section 25 要求の that 節をとる動詞

Section 26 V A 前置詞 B (1)

Section 27 V A 前置詞 B (2)

Section 28 注意すべき類義語

Section 29 意外な意味を持つ動詞

Section 30 句動詞

Section 31 受動態

Stage 2 大学入試文法問題に挑戦Stage 3 より深い英文法へ

Section 32 結果構文 (resultatives)

Section 33 描写述語 (depictives)